



お客さまに手渡すつもりで  
積み降ろしを行っています。

商品が崩れないようにラッピングするのもフォークマンの仕事。



**上司から見た梅沢さんの「現場力！」**

副主任 坪井秀章さん



**「彼の几帳面さは貴重です！」**

本当に一生懸命やっています。倉庫内作業は商品の配置の仕方が細かいので、梅沢さんの几帳面さは貴重です。今後は一人で全ての判断ができるようになり、リーダーとして現場を仕切っていくことに期待しています。

CLOSE UP  
**現場力**

JFE物流を支えるのは最前線で活躍する現場の皆さん。彼らの「現場力！」を紹介します！

京浜物流(株) 倉庫部  
京浜営業所  
東扇島第1倉庫

食品から家電までありとあらゆるモノの  
積み降ろしを行う  
**フォークマン**  
**梅沢智治さん**

京浜倉庫センターに運ばれてくる化粧品や食料品、家電製品などをフォークリフトで積み降ろすフォークマン。大きな体を屈めてフォークリフトに乗り込み、倉庫内を機敏に動き回るのは、笑顔が素敵な倉庫作業歴20年のベテランでした。



—お仕事の内容を教えてください。  
トラックやコンテナで運ばれてきた商品をフォークリフトで降ろして倉庫に保管し、出荷時に再びトラックなどに積み込むのが仕事です。勤務する東扇島第1倉庫では主に化粧品や液晶テレビを取り扱っています。商品は各地方や海外にも発送されるので、行き先ごとに分けて保管しています。  
—フォークリフトの運転で注意していることは？

小回りが利くので動きやすいかわりに、急にハンドルを切ったり、スピードを出し過ぎるとすぐに荷崩れしてしまいます。取り扱う商品は小さい物も多く、崩れやすいので特に丁寧な運転が必要です。あとはトラックから降りたドライバーさんの動きにも注意しています。万が一にも接触事故が起きないように常にこちらが気を配らなければと思っています。  
—一日にどれくらいの荷物を積み降ろすんですか？  
日によって違いますが、トラック40台分の積み降ろしとなると、朝から夕方までほとんど動きっぱなしですね。予定にある商品はどんなに遅くならないとも当日のうちに捌かなければなりません。道路が混んでいてトラックが遅れたり、急に出荷が追加されたりと二日の予定が途中で変わることもしばしば。そのとき、どの商品の積み降ろしを先に行うかが、

—手作業も多いと聞きました。  
はい。例えばコンテナにびっしり詰まった状態で届く液晶テレビは、まず1台ずつ手で運び出して行き先別にパレットに積んでいきます。今ではもう慣れましたが、それでもテレビは重い方ですね。重いものを運ぶと当然体にも負担がかかるので商品を持つ体勢にも気を遣っています。

この仕事は「体が資本」ですからね。  
—食品や化粧品を扱う上で大事なことは？  
一番は清潔感を保つことです。私たちの取り扱う商品の多くはお客さまにそのままの形で届くもの。特に食品類は口に直接入るものなので、外装が汚れていたり、ほこりが乗っている状態ではクレームのもとになり、荷主さんに迷惑がかかってしまいます。当社に預けていただいている信頼に応えるためにも、こまめに商品のはこりを払ったり、倉庫の床を掃除するなどの庫内の清掃や整理整頓は常に心がけています。  
—休日はどう過ごしていますか？  
オートバイをカスタムするのが好きで、バイク仲間とパーツを買ってきて改造したり、ツーリングをしたりしています。趣味の合う人たちと語らう時間は最高の気分転換になります。  
—これからの目標を教えてください。  
ゆくゆくは自分も現場で指示を出す立場にならなくてはと思いますが、今はまだフォークマンとしての仕事を一生懸命バリバリやっています。



メーカーによって動きにクセがあるフォークリフト。それぞれの特徴を感じるのも大事な能力のひとつ。

